

## 資料状況一覧仕様書

### 成田市立図書館 機能

スキャンした資料単位でレシートを印字するか、表示だけかのモードを選択できること。  
データの参照だけでデータの更新日などは変更しないこと。  
表示したデータのリンク先を表示したのちも元のデータに戻れること。

### 表示データ

タイトル、シリーズ、旧版、出版年、県、総予、キープ、書評、図評、典1、2、(ここで改行)  
受入日、返却日、最新処理日、複本、異動、除籍、発注、累計、貸1、貸2、貸3、貸4、貸5、貸6、貸7、貸8、貸9、貸10

2行で表示する  
横スクロールはなし。空白セルがあっても縦に情報が見ることができるよう設計してください。  
PCは17インチモニターで横スクロールしないように設計  
テーブルの高さを一定にしたいので、タイトルについては、表示文字数を制御する。  
巻号必須(雑誌は、年月日号必須)  
表示資料数はパラメータで設定し、縦スクロールもしないこと。

### 1段目

項目	内容	リンクなどの指示
タイトル	成田ルール(※)	タイトル完全一致と著者典拠コードの掛け合わせでの検索結果一覧表示、ローカル一覧、書誌詳細画面まで展開する
シリーズ	「シリーズ」と表示	シリーズ典拠コードで検索できること。
旧版	版の来歴あるときは「旧版」	版の来歴カナ545Aでタイトル完全一致検索の結果一覧表示、ローカル一覧、書誌詳細画面まで展開する
出版年	MARCより年または年月を表示	
県	県立所蔵フラグがあるときは、「県」と表示。なければnull	
総予	右揃え。なければ「0」	現予約ではない
キープ	右揃え。なければ「0」	現時点の今度読みたい本に登録されている数
書評	投稿書評数をカウント、おすすめ度も表示。表示は、5件書評で、3.5なら、「5(3.5)」と表示	OPACの書誌詳細画面にリンク
図評	基本書>おすすめ>話題の優先順位で1つ表示。表示は「5」「3」「1」	業務書誌詳細画面にリンク
典1	レファDB、新聞記事DBほかから資料にリンクが張られている場合「典1」、「典2」とリピータブルで表示	典拠にした書誌データ(レファDB、新聞記事DBなど)へリンク

### 2段目

項目	内容	リンクなどの指示
受入日	“yyyy-mm-dd”、左揃え	
返却日	“yyyy-mm-dd”、左揃え	
最新処理日	“yyyy-mm-dd(入、出、null)”、左揃	
複本	生きている複本数、スキャンしたデータも含む。右揃え	書誌詳細画面へリンク
異動	不明、紛失、調査の数、なければ「0」、右揃え	
除籍	除籍数、なければ「0」、右揃え	
発注	発注事故の立っていない発注数、なければ「0」、右揃え	
貸累	右揃え。貸出累計なければ「0」	
貸1-貸10	右揃え。貸0ならば「0」	

### 再検索の方法

版の来歴(TRCTタイプ)345Aを表示し、版の来歴カナ545Aでタイトル完全一致検索できること  
タイトル完全一致と著者典拠コードの掛け合わせで検索できること  
シリーズ典拠コードで検索できること。ただし、〇〇文庫のシリーズと居眠り磐音江戸双紙のシリーズがリピータブルで入っているので難しい

### 業務フロー

メニューに入ると、レシート印刷か画面表示のみかの選択をする。  
バーコードスキャンの位置に常にカーソルが当たるか、リンクを押したあとは、ファンクションキーでバーコード入力窓にカーソルが来ること  
スキャンしたデータは、表示されているデータの上に表示。(常に一番上を見ていればスキャンしたものは確認できること)  
画面から消えたらそのままよい。  
印刷するときは、スキャンの度にレシート印刷する。

※現状より変更有

レシート仕様書 資料状況一覧用

成田市立図書館

		表示指示
打出日	2006/8/18	当日をセット
受入日	2003/5/9	ローカルデータより
利用回数	19	ローカルデータの総貸出回数
県あり		書誌タグの県立所蔵フラグがあるときは「県あり」、なければ空白
総予約	6	書誌のデータより
キー本	1	書誌のデータより
典拠	2	典拠とリンクを張っている数
図書館評価	基本書	基本書>おすすめ>話題の優先順位であれば表示
書評数(点数)	5(3.5)	投稿書評数(おすすめ度)
利用少	刊年古	文字列を出力
汚破損	旧版	文字列を出力
類書		文字列を出力
その他		文字列を出力
最終返却日	2006/8/6	ローカルデータより
貸1	12	ローカルデータより
貸2	1	ローカルデータより
貸3	0	ローカルデータより
貸4	6	ローカルデータより
貸5	0	ローカルデータより
単行本あり	新書あり	文字列を出力
文庫あり		文字列を出力
／	複本	文字列を出力。180° 回転できれば尚可

文字列には、あとで作業者が○をつけたりするための情報